

## 1. 目的

本研究の目的は、「自分のお金の流れを通して会社のお金の流れがわかるようになるような家計簿 web サービスの作成」である。

私は高校時代に簿記を学んでおり、いろんな友達に教えることが多かった。そこから、簿記の学習に苦労している人が多くいることを知った。さらに、社会に出たから会計の知識を身に着ける人が多くいることも知った。これをきっかけに、自分の経済活動を通して理解すれば、より経験として学ぶことができると考え、このサービスの開発に至った。

## 2. 実現手法

現在すでにリリースされている家計簿アプリや web サービスを参考にしながら作成する。そこに、オリジナリティである複式簿記の要素を入れていく。現在考えている要素は、2つある。1つ目は、記帳方式を複式簿記と同じ方式(図1)で記入できるという機能である。これにより、複式簿記におけるお金の流れを経験として理解できることを期待している。2つ目は、記帳した金額の合計が財務諸表の形式で見ることができると期待している。この要素があることで、自分の経済活動を通して財務諸表を理解できるようになることを期待している。

借方		貸方	
勘定科目	金額	勘定科目	金額

図1：複式簿記における経済活動の記帳方法

## 3. 解決した課題

このサービスを開発するにあたって解決した課題は2つある。1つ目は、データ

ベースと PHP を使用して、入力した取引をデータベースに保存しておく機能を作成したことである。2つ目は、入力した取引データを確認できるページと、取引を入力後、保存してある取引データとともに表示させる機能を作成したことである。これはどちらも、基本的な家計簿に備わっている機能である。

## 4. 現状の進捗

現在は、実現手法で1つ目に書いた記帳方式を複式簿記と同じ方式で記入できる機能を制作している。

会計知識がない人に対して提供するサービスであるため、突然「借方」「貸方」を記入するというのはとても難しい。そのため、質問を投げかけ、それに答えると取引の入力が完了するという機能を制作している。さらに、記帳前に勘定科目の分類や貸方・借方などの複式簿記における基礎知識を知ってもらうために Tips も用意することを考えている。

制作にあたり、質問項目を考える必要があるため、現在はその質問項目を考案中である。

## 5. 今後の課題

今後の課題は、2つある。1つ目は、個人と企業での勘定科目における概念の違いの扱いを考えることだ。例えば、給与は個人の経済活動で考えると「収入」である。しかし、企業の経済活動で考えると「費用」となる。このような勘定科目の概念の違いの扱いを考えることが1つ目の課題だ。

2つ目は、Tips の参考のために、会計学の先生に勘定分類や借方貸方の概念の教え方についてお話を伺うことを考えている。